

あひょう く いせき かんじょうはいせきいこう いし えんけいじょう なら じゅうきよじょう

安俵6区遺跡では、環状配石遺構(石を円形状に並べた住居状のもの)

が8基見つかりました。

大きさが5～6mのものが5基、5m以下のものが3基、その中で

も石囲炉をもつものが3基(いずれも5m以上のもの)、入り口・張り出しをもつものが3基あります。3基の石囲炉は火を使った形跡は見

られませんでしたが環状配石の外側には石囲炉が4基発見され、こち

らは灰が残っており火を焚いていたようです。屋外の石囲炉で煮炊き

などをして共同生活をしていたと考えられます。

また朱塗りの土器や多数のミ

ニチュア土器、特殊な形の遺物

なども見つかり、この周

辺で、何らかのお祭りが行われ

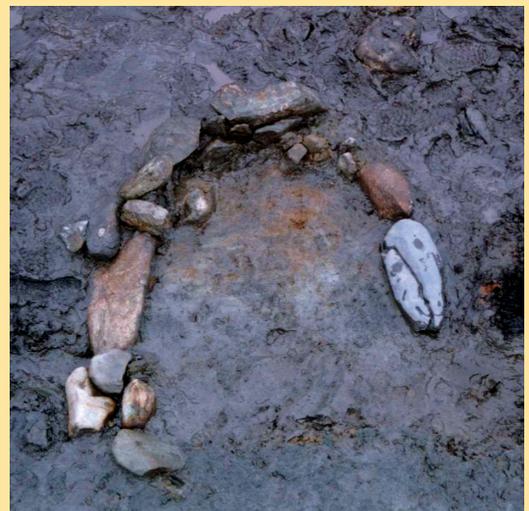
ていたようです。



さんかくとうがた
特殊な形の遺物(三角壻形土製品)(平成12年度調査)



石敷きの張り出しを持つ6号環状配石遺構(平成12年度調査)



使用された跡が残る3号屋外石囲い炉(平成12年度調査)